平成25年度大学改革推進等補助金（大学改革推進事業）

大学間連携共同教育推進事業

公開シンポジウム「第7回獣医学教育改革シンポジウム」:
主催:日本学術会議食料科学委員会獣医学分科会、公益社団法人日本獣医学会

Vet4u

取組名称:

グローバル社会を担う
次世代型獣医学系大学教育機構の構築

参加大学:

東京大学(代表校)
麻布大学
日本獣医生命科学大学
日本大学

大学間連携共同教育推進事業の趣旨

【文科省 公募要領より】

〔背景〕

社会が急激に変化する中、様々な危機を乗り越え、持続的な成長と発展を築くためには、主体的に考える力を持ち、社会の様々な課題を解決に導く多様な人材を養成することが求められます。そのための大学教育の質的転換には、各大学の教育の充実、学修時間の実質的な増加・確保を行うとともに、大学を超えた連携を深め、それぞれの強みを生かしながら教育資源を結集し、多様かつ質の高い大学教育を提供することが重要となっています。

〔目的〕

本事業は、国公私立の設置形態を超え、地域や分野に応じて大学間が相互に連携し、社会の要請に応える共同の教育・質保証システムの構築を行う取組の中から、達成目標が明確で高い成果が見込まれる取組を選定し、重点的な財政支援を行うことにより、教育の質の保証と向上、強みを活かした機能別分化を推進することを目的としています。

この事業の特徴：「ステークホルダー」

社会との協働：

学生を送り出す地域や分野に関わるステークホルダー（自治体、学協会等）と課題を共有、協働し、構想から実行、評価までを実施する体制を構築すること。（公募要領より）

「ステークホルダー」とは？　（Wikipediaより）

ステークホルダー（Stakeholder）とは、企業・行政・NPO等の利害と行動に直接・間接的な利害関係を有する者を指す。また、日本語では利害関係者という。具体的には、消費者（顧客）、従業員、株主、債権者、仕入先、得意先、地域社会、行政機関など。

ステークホルダーの概念は、1963年に米国SRIインターナショナルの内部のメモで初めて使われた。そこでは、ある組織にとってのステークホルダーを「そのグループからの支援がなければ、当該組織が存続し得ないようなグループ」と定義していた。以降、ビジネスの実践においても、また、経営戦略、企業統治（コーポレート・ガバナンス）、事業目的、企業の社会的責任の理論化においても、広く受け入れられる概念となった。

【　Stake:　支え棒　】

取り組みの全体像

地域連携だから選べる多彩な組み合わせ
（ Face-to-Face & ICT ）

タブレットPCによる
メディア教育コンテンツ

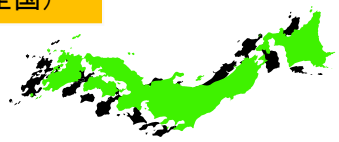
① コアカリ準拠テキストの電子化
② eラーニング
③ 講義のビデオライブラリー
④ 3D画像アーカイブス
⑤ CBTシステム
⑥ 電子出欠システム　etc.

学生の移動
学生の実習の共有化
ゼミ方式授業（小人数）
教員の移動・派遣
集中シンポジウム形式授業
ICT オンデマンド

獣医学教育
教材アーカイブス

オープンリソースセンター構想 （全国）

他大学のコンテンツも
収集してアーカイブス化



余力のある資源はICTで全国の学生に提供

教育資源管理
運営センター
東京大学

スキルラボ
各大学

ICTまたは従来型の講義形式で

ICTで（双方向）

電子化

コアカリ準拠のテキスト

臨床実習

オンデマンドによる自習

各大学の強みを生かした
授業の提供

講義プログラムの提供
実習プログラムの提供

様々な形態の教材の提供
学生への積極的発信

資源の提供

連携大学

- ●東京大学（代表校）
- ●日本獣医生命科学大学
- ●日本大学
- ●麻布大学

連携機関（関東地区研究期間／行政機関）

- 動物衛生研究所
- 動物医薬品検査所
- 国立感染症研究所
- 全国農業共済協会
- 国際獣疫局（OIE）アジア太平洋地域事務局
- 日本中央競馬会（JRA）総合研究所
- 農林水産消費安全技術センター（FAMIC）

人材を供給

5年後のビジョン

関東地区 獣医学系大学教育機構

いわば、文科、農水、厚労の3省庁が協力する新しい組織
（バーチャルだが実質的に機能する総合獣医系大学）

東京大学
日本獣医生命科学大学
日本大学
麻布大学

グローバルに活躍する獣医師

スキルラボの取り組み

平成24年度「大学間連携共同教育推進事業」
関東地区獣医系4大学教育連携事業

概要	4大学紹介	教育ICT素材	トピックス

オープンスキルラボ

実習・インターンシッププログラム名	日程	予定実施機関	応募締切
獣医療面接オープンスキルラボ	2013年3月22 日（金）	日本獣医生命科学大学	3月1日（金）
感染症診断オープンスキルラボ	2013年3月11日（月）、同15日（金）	日本大学	2月25日（月）
産業動物オープンスキルラボ	2013年2月18日（月）～19日（火）	麻布大学	1月25日（金）
感染症診断オープンスキルラボ	2013年2月14日（木）～15日（金）	東京大学	1月31日（木）

獣医療面接オープンスキルラボ

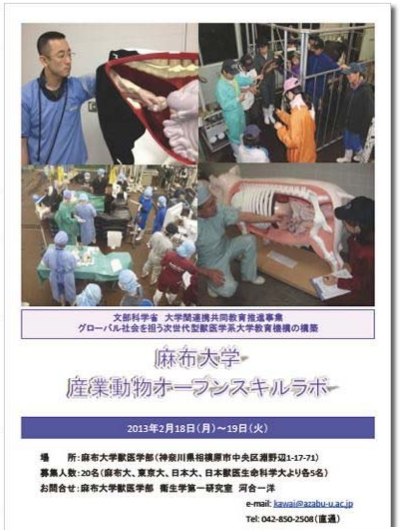
開催期間	平成25年3月22 日（金）
集合場所	東京都武蔵野市境南町1-7-1 日本獣医生命科学大学第一校舎（詳細は案内板に掲示します） （アクセスマップ）（構内案内図）
参加の条件	伴侶動物医療におけるコミュニケーションスキルの習得に興味のある獣医学科4-5年生（4月からの5-6年生）。
定員	最大12名
交通手段、宿泊および昼食	各自で手配願います。
研修内容	別紙の通り（ワード形式）
持参するもの	筆記用具、白衣など
応募期限	平成25年3月1日（金）
連絡先	日本獣医生命科学大学　獣医薬理学教室　田島　剛 e-mail: t-tajima@nvlu.ac.jp Tel: 042-231-4151（内線274）

感染症診断オープンスキルラボ

開催期間	平成25年3月11日（月）、同15日（金）
集合場所	神奈川県藤沢市亀井野1866 日本大学生物資源科学部獣医学科　6号館2階621実習室 (アクセスマップ)(キャンパスマップ)
参加の条件	感染症に興味のある獣医学科3-4年生（4月からの4-5年生）。 特に将来、公務員獣医師あるいは研究者として感染症制御に携わることを考えている学生にはお勧めです。
定員	16名程度（各大学4名程度） 各大学の応募人数によっては追加調整させていただく場合があります。
交通手段、宿泊および昼食	各自で手配願います。
研修内容	別紙の通り（ワード形式）
持参するもの	筆記用具、白衣など
応募期限	平成25年2月25日（月）
連絡先	日本大学生物資源科学部　獣医学科　獣医公衆衛生学研究室　壁谷英則 e-mail:kabeya@brs.nihon-u.ac.jp Tel: 0466-84-3377（直通）

産業動物オープンスキルラボ

開催期間	2013年2月18日（月）～19日（火）
集合場所	神奈川県相模原市中央区淵野辺1-17-71 麻布大学　獣医学部棟3階303,304ゼミ室
受付時間	2月18日（月）8時30分～8時45分
参加の条件	産業動物に興味のある獣医学科4学年生および5学年生
定員	定員20名（各大学5名程度） 各大学の応募人数によっては追加調整させていただく場合があります。
交通手段、宿泊および昼食	各自で手配願います。 昼食は学食の利用もできます。
研修内容	別紙の通り（ワード形式）
持参するもの	筆記用具、実習にふさわしい服装、聴診器、長靴など
応募期限	2013年1月25日（金）
ポスター	PDF形式
連絡先	麻布大学獣医学部　衛生学第一研究室　河合一洋 e-mail: kawai@azabu-u.ac.jp Tel: 042-850-2508（直通）



感染症診断オープンスキルラボ

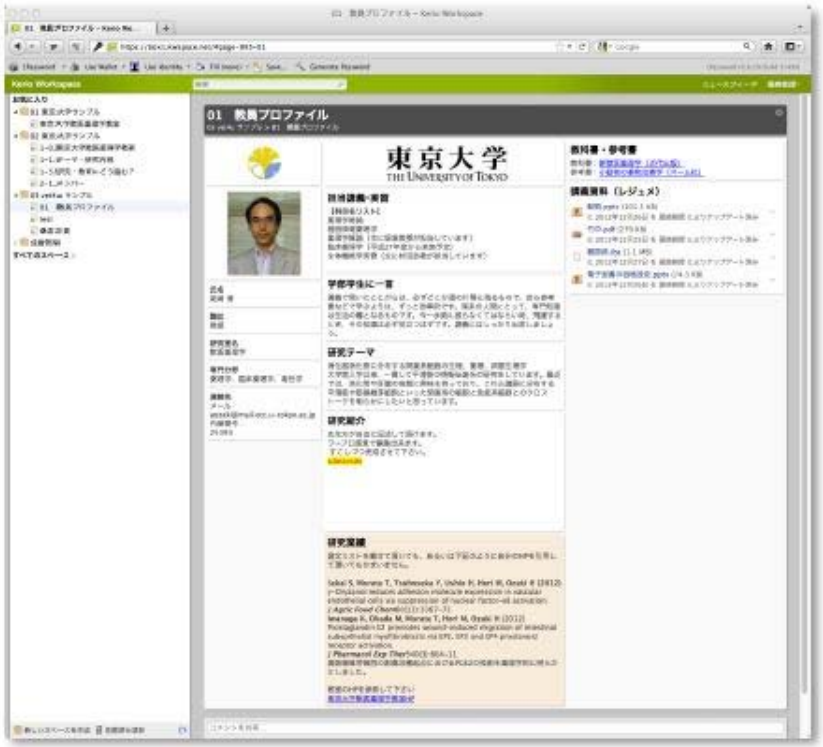
開催期間	2013年2月14日（木）～15日（金）
集合場所	東京都文京区弥生1-1-1（東京大学交通案内） 東京大学　農学部3号階217室
参加の条件	感染症に興味のある獣医学科3年生および4年生（4月からの4、5年生）。特に将来、公務員獣医師あるいは研究者として感染症制御に携わることを考えている学生にはお勧めです。
定員	12名（各大学3名程度） 各大学の応募人数によっては追加調整させていただく場合があります。
交通手段、宿泊および昼食	各自で手配願います。 昼食は学食の利用もできます。
研修内容	別紙の通り（ワード形式）／実習時間割（PDF ）
持参するもの	筆記用具、白衣など
応募期限	2013年1月31日（木）
連絡先	東京大学獣医学専攻　感染制御学研究室　上間亜希子 e-mail: atakiko@mail.ecc.u-tokyo.ac.jp Tel: 03-5841-7573（直通）

ICT教材の整備（LMSの構築）

基本システム開発企業：

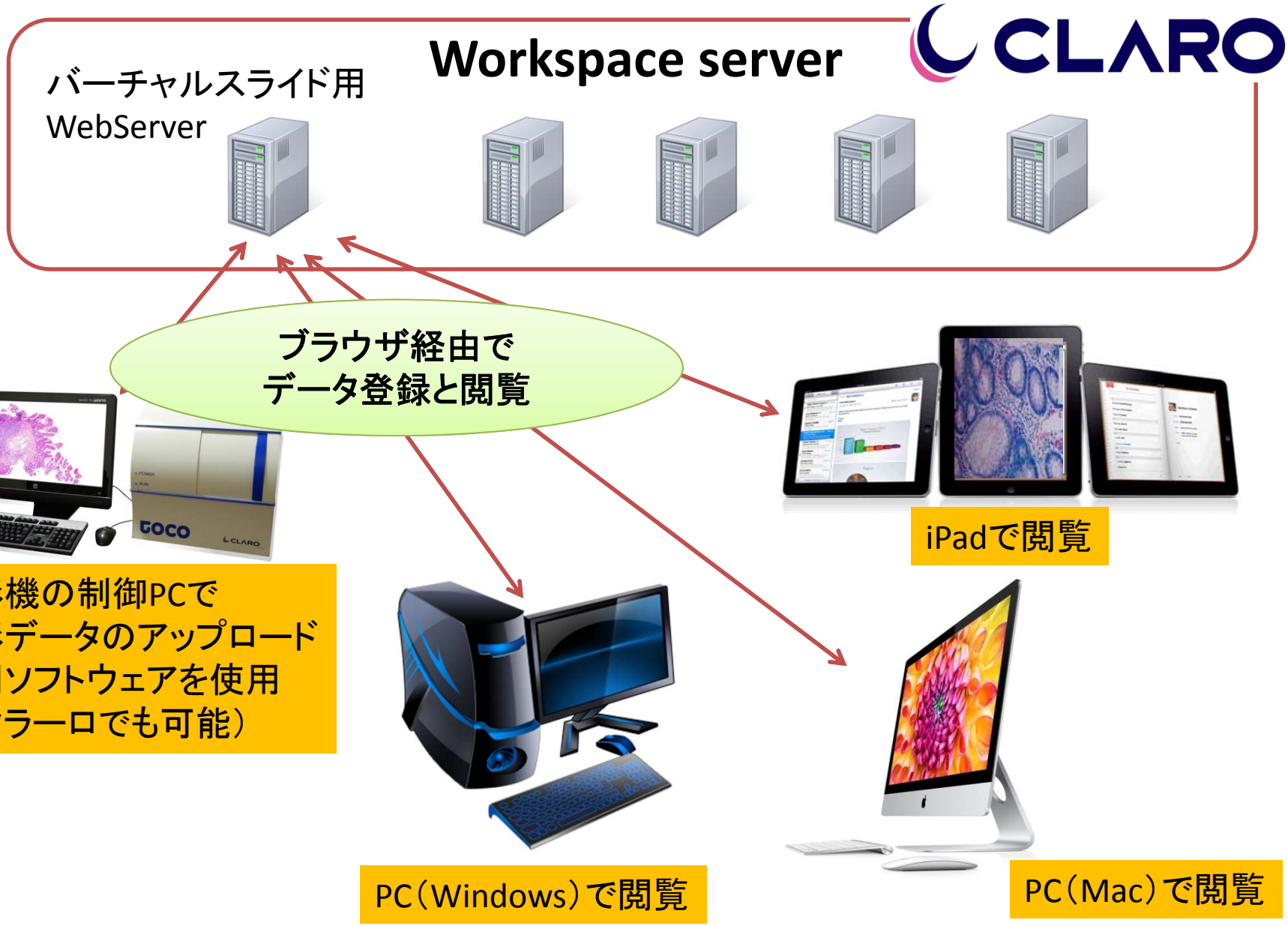
- 丸善
- 大日本印刷
- Too
- マジックハット

LMSを構築する上で配慮したこと：
事業が終了した後も、システムを手元に置いて安価に運用できること



LMS（Learning Management System）
学習管理システム
eラーニングの実施に必要な、学習教材の配信や成績などを統合して管理するシステムのこと。

バーチャルスライド システム



各大学の役割分担　（順次変わります）

	麻布	東京	日本獣医生命	日本
スキルラボ	産業動物　◯伊東・河合・恩田（24年度）	感染症　◯芳賀・堀本・平山・後藤（24～25年度）	コミュニケーションスキル　鷲巣（24年度）	病原体系実習　遠矢・壁谷（24年度）
	CBTトライアルモデル実施（25年度）	形態学実習　中山・九郎丸・内田・金井・恒川（24年度）	シミュレーター開発　鷲巣・堀（24年度）	小動物内視鏡実習　中山（25年度）
			CBTトライアルモデル実施（25年度）森田、田島	
ICT		統合ソフトDNP　尾崎	OSCE説明ビデオ作成　佐々木・森田・堀	臨床画像アトラス教材　中山・山谷
		教員プロフィール（講義資料アーカイフを含む）　桑原		
		電子図書　尾崎		
		ビデオ講義ライブラリー　杉浦		
		会議資料閲覧管理　桑原		
		臨床病理資料集　松木・後藤		
バーチャルスライド	白井、市原	◯中山裕之	森田	中山智宏
交換授業		コーディネーター大学（集計）		
合同授業			就職説明会　新井	海外講師による講義　杉谷・野上
			海外講師による講義　鷲巣	
遠隔講義・会議		責任者　堀	責任者　田島	
コア・アドバンス科目 相互補完授業			獣医法規学　吉村	
連携機関プログラム		感染症研究所　山田	動物医薬品検査所　青木	
		動物衛生研究所　杉浦	動物検疫所　吉村	
		JRA　杉浦		
		NOSAI　中山		
		OIE　杉浦		
ホームページ		全体　内田	学生ページ　田島	

ステークホルダーとの連携

連携機関（関東地区研究期間／行政機関）

- 動物衛生研究所
- 動物医薬品検査所
- 国立感染症研究所
- 全国農業共済協会
- 国際獣疫局（OIE）アジア太平洋地域事務局
- 日本中央競馬会（JRA）総合研究所
- 農林水産消費安全技術センター（FAMIC）

- さらに追加して実施！
- 社会全体をステークホルダーとして意識した取り組みも！

4年後にどの様な成果が出せるか！？
（コンテンツのオープン化も重要課題）